

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	宮崎
-------	----

I 学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	高岡町立高岡中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	4	5	1	13	23
生徒数	116	147	166	6	435	

II 研究の概要

1. 研究主題

確かな学力を身に付け、意欲的に生き抜く生徒の育成  
 ～基礎・基本の確実な定着を目指した授業改善を通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年を対象に、生徒の学習に関する実態把握や分析を実施するとともに、全教科で実践項目を共通理解し実践的研究を深める。

- 生徒の学習に関する実態把握
  - ・教科に対する意識調査
  - ・自宅学習調査
  - ・テスト結果の分析
- 教科における実践的項目

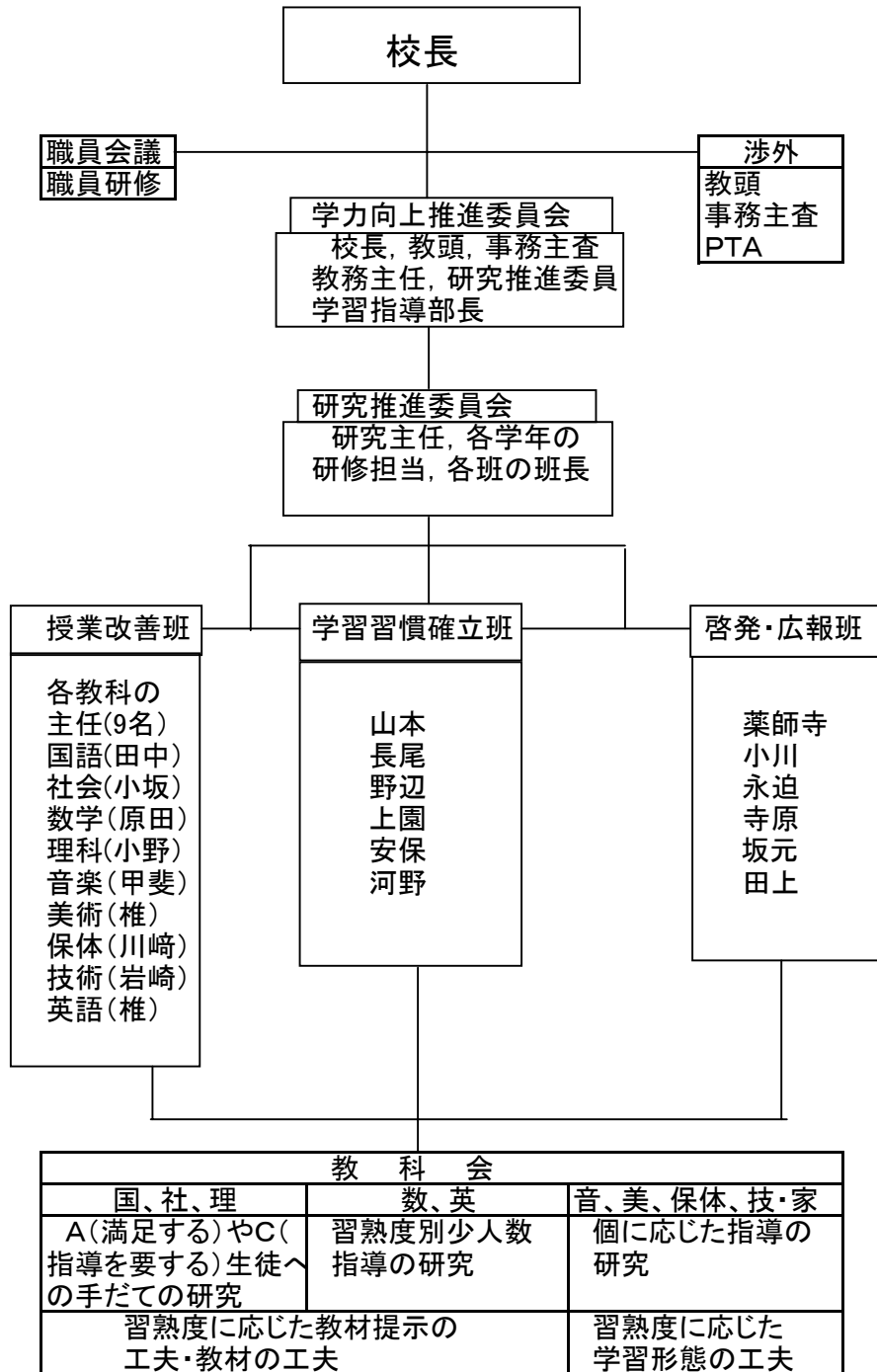
教 科 会		
国、社、理	数、英	音、美、保体、技・家
A(満足する)やC(指導を要する)生徒への手だての研究	習熟度別少人数指導の研究	個に応じた指導の研究
習熟度に応じた学習活動の工夫・教材の工夫		習熟度に応じた学習形態の工夫

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テーマ 生徒の学力に関する実態や学習に関する実態を把握し、個に応じたきめ細かな指導に生かす。</li> <li>○ 研究の見通し 研究体制の確立、生徒の実態把握、授業研究会、班別研究推進</li> <li>○ 研究の内容・方法 生徒の全教科に対する意識調査の実施、テスト結果の分析、自宅学習調査・指導授業改善、指導案形式検討、学習状況の評価に関する研究</li> </ul>
--------	--

平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テーマ 指導の在り方、評価の在り方を工夫し、きめ細かな指導に生かし、学力向上を図る。</li> <li>○ 研究の見通し 平成15年度の研究成果を基に、指導法の改善・評価方法の工夫を充実し、研究の成果を普及させる。</li> <li>○ 研究の内容・方法 学習習慣確立の手立ての研究、習熟度に応じた学習活動の工夫及び教材の工夫 習熟度に応じた学習形態の工夫、指導に生かす評価の工夫等に関する研究</li> </ul>
--------	---

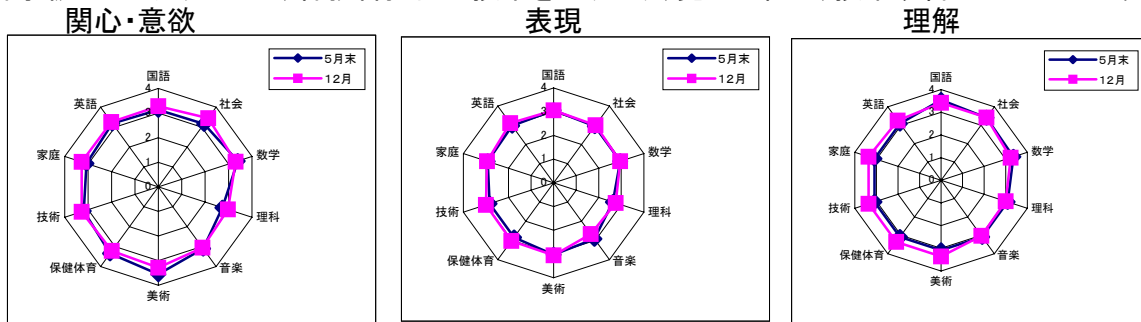
(3) 研究推進体制



### Ⅲ 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

教科に対する生徒の意識調査を5月と12月に実施し、その結果を比較検討することができた。項目を主に①関心・意欲、②表現、③理解の3つにして、比較し今後の指導に生かすことにした。またこのデータを各学級ごとにグラフ化し、各教科担任が授業をふり返り、見つめ直し、授業改善に生かせるようにした。



生徒の自宅での学習習慣などを調査することで、生徒の平日の学習時間の不足や生徒が学習の方法が分かっていない等がわかった。そこで自宅学習マニュアルを全教科で作成し、1冊の冊子にして全校生徒に配布し指導することができた。

授業改善の工夫については、各教科の習熟度に応じた対応の取組一覧を作成することができた。また授業の段階等を示すカードを作成し、全教科全教室で使用することにした。

本時の目標

まとめ

ポイント

評価しよう

覚えよう

重要

本時の内容

練習

#### 2. 今後の課題

##### ア 授業改善の工夫について

本年度は授業の改善の視点として、すべての教科において習熟度別の対応の工夫ができないかということで研究を進めてきたが、来年度はこの研究をさらに教科群で共通して取組めるようにする必要がある。

評価の充実として、本年度は各評価規準ごとに達成率を出し、その達成率の累積で各教科の評定を決定することにした。今後は1単位時間ごとの評価計画を作成し、その計画に基づく指導を実施することで指導と評価の一体化を図る必要がある。

##### イ 学習習慣確立指導の工夫について

自宅学習の習慣化については、本年度は、自宅学習マニュアルを全教科作成して指導したが、まだ徹底されておらず、計画的かつ定期的に指導していく必要がある。このことは、家庭の協力を得ながら確かな学力を身に付ける手立ての工夫を図る必要がある。

#### Ⅳ 学力把握のための学校としての取組

##### 1. 標準学力テストの実施

領域別の達成率が全国平均との比較で把握できるので、1年に1回実施している。この結果を5教科で分析して授業改善につなげている。今後は観点別に達成率の分かる、全国標準テストの導入を検討中である。このテストにより学校で作成した評価規準の見直しが可能になる。

##### 2. 生徒の教科に対する意識調査

全教科で①関心・意欲、②表現、③理解の3項目を全校生徒を対象に実施した。5月と12月の2回実施した。この調査では生徒の授業評価が反映されることで授業改善につながっている。

##### 3. 自宅学習に関するアンケート

自宅学習の時間や宿題の実施状況等を把握するために、4月と12月に実施した。

#### Ⅴ フロントアスクールとしての研究成果の普及

##### 1. 高岡中学校ホームページの作成

本年度は啓発・広報班において、ホームページの作成を行った。

##### 2. フロントア通信の発行

フロントア通信を保護者を対象に発行した。現在3号まで発行済みである。

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】  15年度からの新規校  14年度からの継続校

【学校規模】  3学級以下  4～6学級  
 7～9学級  10～12学級  
 13～15学級  16学級以上

【指導体制】  少人数指導  T.Tによる指導  
 その他

【研究教科】  国語  社会  数学  理科  外国語  
 音楽  美術  技術・家庭  保健体育  
 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】

有  無